

# 緑樹

羽ばたけ卒業生、磨け在校生

校長 市川美紀子

発行責任者  
清川村立緑中学校  
市川美紀子  
清川村煤ヶ谷 1933  
Tel.046-288-1241  
ホームページアドレス  
<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

「中学校の三年間は、本当に早いです。アツという間です」とは、三年生の保護者の方の感想です。

三年生は、二学期末から受験が心の大半を占める生活となり、二月に、私立高校受験と公立高校入学選抜検査に挑みました。結果は合否で示されますが、本当の結果はこの高校に入ったかではなく、そこで何を学び、高校卒業時にどのような自分になっているかだと思います。

それは、今回のソチオリンピックで選手たちが見せてくれたものにも当てはまります。「目標を持つことの大切さ」「途中の失敗や年齢に負けずに最後まで諦めないことの大切さ」「平常心を保つことの大切さ」そして、それらのバランスをとるべく、「楽しんでパフォーマンスすることの大切さ」等々、スタートからゴールまでの体験過程に意味があります。

来る三月十三日、二十七名の生徒が九年間の義務教育を修了し、卒業いたします。清川村の澄んだ空気と自然、そして、ご家族や地域の皆様に見守られ、たくましく成長いたしました。それぞれの進路は、誰と比較するものではない、誇りです。一人一人が、喜びと感謝の気持ちをもって諦めずに進んだなら、多くの挑戦の機会に出会うことでしょう。在校生も更に磨きをかけて、しっかりと後に続きます。関わってくださった全ての方、全ての物、全ての出来事に感謝の心は尽きません。

## 薬物乱用防止教室開催

一月三十日（木）に各学年において「薬物乱用防止教室」を開催いたしました。

一年生は「未成年の喫煙と健康」をテーマに授業を行いました。なぜ未成年の喫煙が法律で禁止されているのか、またその怖さについて資料を読みながら学習しました。授業を受けた感想では「家族がたばこを吸っているので、健康が心配だ」、「将来のたばこの値段が気になる」などが出されました。

二年生は「未成年の飲酒と健康」についてDVDを見ながら学習しました。未成年の飲酒が若い体に与える影響について、自分の問題として考えるきっかけとなったようです。鑑賞後には「お酒に誘われても、きちんと断

## 授業参観・保護者会

二月七日（金）に一、二年生の授業参観と保護者懇談会を実施いたしました。一年生は理科の授業でマシユマロを使い、大気圧の実験を行いました。大きく膨らんだマシユマロに歓声があがりました。

二年生は国語で「走れメロス」を題材に授業が行われました。濱崎教諭からは実はメロスの走った速度は歩く速さと同じぐらいだった、などと言う新しい見解も出され、興味

と断れるようにしたい」「今はお酒に頼らなくても楽しい生活が出来る」という意見が出されました。

三年生は愛光病院から看護師の加賀正浩氏による講話を頂きました。薬物の乱用による心身への影響や、依存について知ると共に、自分にとっての正しい意志選択をする大切さをお話して頂きました。生徒からは「先生の実体験を話して頂き、薬物の本当の怖さがわかりました」「薬物には絶対手を出さない」という決意の声が聞かれました。

今回得た知識や、感じたことを今後の生活に活かしていった欲しいと思います。



深い授業となりました。

その後の保護者懇談会では各クラスでの様子や家庭での様子、進路や修学旅行についてなど幅広い話題で情報交換を行うことが出来ました。ご参加頂きました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

今年度の授業参観は最後になりました。多くの方に来ていただき感謝申し上げます。来年度もぜひ授業参観にお越しくくださいますよう、お願い申し上げます。



### 校内研究会[「いのち」を大切にする心をはぐくむ教育]

今年度は県からの委託で「『いのち』を大切にする心をはぐくむ教育」推進校として、研究を進めて参りました。研究テーマは「自分を知り、自他の承認を通して自己肯定感を高める工夫」とし、自己肯定感を高めることに主眼を置き、道徳教育を中心にすべての教育活動で実践してきました。

二月四日(火)に文教大学から赤坂雅裕教授やアメリカからダラ・フェルドマンさん(VP インターナショナル議長)らを迎え、研究授業(2年1組)と研究協議を行い、一年間の研究成果を発表しました。

#### 日々の実践

#### ① 美徳教育プログラムの活用

五十二枚のカードに書き記された美徳を毎朝のカードピックにより、学びを積み上げてきました。まずはすべての人の中にある人としての良さに触れ、気づき、実践していくという、自分育てです。間違いを犯したら自己否定に陥ることなく修正して次の行動に移す。そして、その事を承認していくという、正に人格形成の具体を生徒も教師も学び合いました。



#### ② 内省の時間【午後二時】

内省のチャイムを合図に生徒も教師もすべての行動を止め、目をつぶり一分間、一日の行動のあり方を内省し、今日の美徳について考えました。一年間続けてきて、しっかりと根付いてきたようです。



#### ③ 1分間スピーチの取り組み

「私の好きな美徳」というテーマで、一分間スピーチを朝の会で行いました。生徒に「なぜその美徳を選んだか」と聞くと「感謝」は好きな言葉だからとか、「自制心」は自分に必要な美徳だからと答えていました。どの生徒も感動的なスピーチができました。



#### 雪かき、頑張りました

二月八日(土)に関東地方は近年まれに見る大雪に見舞われました。緑中学校でもグラウンドが一面真っ白となり、敷地内はまっすぐ歩くのが難しい程の雪が積もりました。十日(月)の朝は、登校してきた生徒と職員とで力を合わせて、雪かきに汗を流しました。シャベルで掘っても、なかなかくならない雪に悪戦苦闘しましたが、

#### ④ 研究授業での実践

二年一組でイマリアグベ綾子教諭と木室典久教諭がITで研究授業を行いました。トラストウォーク、傾聴から美徳の承認、「コップの水」「美徳のバランス」と展開し、美徳と自他の承認を学びました。



《一年間の美徳の感想を生徒に聞きました》  
 ・人のよさを見つけやすくなりました。  
 ・五十二の美徳を知ること、反省することの大切さを学びました。自分に努力が必要な美徳をカードピックすることで、その美徳の内容を意識することを学びました。  
 ・美徳を意識しながら一日を過ごすこと自分の中で最も良い判断ができるようになった。

みんなで力を合わせて通路を確保しました。お昼休みには雪合戦で盛り上がる生徒の姿も見られました。  
 今回は村教委から除雪のための重機を手配していただき、生徒の通路を確保することができました。保護者や地域の方々にも通路確保のために、ご尽力いただき、感謝申し上げます。  
 教室では今年度入れていただったペレットの暖房機で快適に過ごしています。



#### 職業調べ発表会

二月三日、十三日、一学年では、職業調べの発表会を実施致しました。文化発表会では興味のある職業を調べ、壁新聞で発表しましたが、今回はパワーポイントでスライドを作成し、一人ひとりがプレゼンテーション形式で発表しました。一学年の生徒と多くの職員の前で堂々と発表することができました。



#### 3月の予定

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 3日 学校朝会           | 18日 給食終了     |
| 5日 学級専門委員会        | 生徒会結団式・球技大会  |
| 6日 人権アンケート(1、2年)  | 19日 弁当持参     |
| 10日 卒業式予行         | 20日 弁当持参     |
| 三年生を送る会           | 24日 弁当持参     |
| 12日 卒業式前日準備・清掃強化日 | 大掃除          |
| 13日 第66回卒業証書授与式   | 25日 修了式      |
| 14日 公立定通分割合格発表    |              |
| 清掃強化日             | 学年末休業(～3/31) |
| 17日 清掃強化日         |              |

